

# 1か

## 心を定めた Remnant

ダニ 1:8~9 ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。神は宦官の長に、ダニエルを愛しつくしむ心を与えられた。

### 1. わざわい時代が臨みました

- 1) 神様を知らない時代になりました
- 2) 神様を離れた時代になりました
- 3) 神様を間違って信じる時代になりました

### 2. 捕虜時代になりました

- 1) 神殿が破壊されました
- 2) ゼデキヤ王が治めるときに起きました
- 3) イスラエルのすべての民が捕虜になりました

### 3. 神様が Remnant 時代を回復されました

- 1) イスラエルからダニエル、ハナヌヤ、ミシャエル、アザルヤがバビロンの捕虜になりました（ダニ 1:1~7）
- 2) ダニエルが王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒を飲まないと決心したとき神様は宦官の長に、ダニエルを愛しつくしむ心を与えられました（ダニ 1:8~9）
- 3) ダニエルと三人の同僚は野菜を食べ水を飲むだけでしたが、むしろ顔色はもっと良く、からだも肥えていました（ダニ 1:10~16）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

# 04

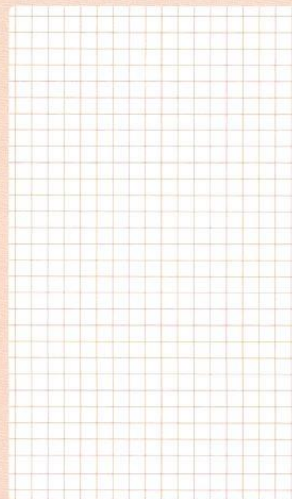
聖日 (主日)

礼拝の準備をして礼拝をささげ  
みことばを私の生活に適用する  
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- 聖書
- 献金
- 筆記用具
- <子どもの祈りの手帳>
- 週報を読む

一週間握るみことば



# 2か

## 心<sup>こころ</sup>を合わせた Remnant たち

ダニ 3:8~24 シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴはネブカデネザル王に言った。「私<sup>わたし</sup>たちはこのことについて、あなたにお答<sup>こた</sup>えする必要<sup>ひつよう</sup>はありません。もし、そうなれば、私<sup>わたし</sup>たちの仕<sup>つか</sup>える神<sup>かみ</sup>は、火<sup>ひ</sup>の燃<sup>も</sup>える炉<sup>ろ</sup>から私<sup>わたし</sup>たちを救<sup>すく</sup>い出すことができます。王よ。神<sup>かみ</sup>は私<sup>わたし</sup>たちをあなたの手<sup>て</sup>から救<sup>すく</sup>い出します。しかし、もしそうでなくても、王よ、ご承<sup>おう</sup>知<sup>ち</sup>ください。私<sup>わたし</sup>たちはあなた<sup>あなた</sup>の神<sup>かみ</sup>々に仕<sup>つか</sup>えず、あなた<sup>あなた</sup>が立<sup>た</sup>てた金<sup>きん</sup>の像<sup>ぞう</sup>を拜<sup>おが</sup>むこともしません。」 (16~18)

### 1. バビロンに区別<sup>くべつ</sup>されていった Remnant たちは名前<sup>なまえ</sup>が変わりました

- 1) ダニエル (神<sup>かみさま</sup>様<sup>わたし</sup>は私<sup>しんぼんしや</sup>たちの審<sup>おう</sup>判<sup>の</sup>者<sup>ち</sup>) - ベルテシャツアル (王<sup>まも</sup>のいのちを守<sup>も</sup>ってください)
- 2) ハナヌヤ (主<sup>しゅ</sup>は恵<sup>めぐ</sup>み深<sup>ふか</sup>い) - シャデラク (月<sup>つき</sup>の神<sup>かみ</sup>の命<sup>めい</sup>令<sup>れい</sup>)
- 3) ミシャエル (神<sup>かみさま</sup>様<sup>わたし</sup>がおられる) - メシャク (誰<sup>だれ</sup>か)
- 4) アザルヤ (主<sup>しゅ</sup>が助<sup>たす</sup>けてくださ<sup>た</sup>った) - アベデ・ネゴ (ネゴ\*のしもべ) ネゴ (ユ-フ<sup>しんしゅつ</sup>ラテスまで進<sup>お</sup>出したエジ<sup>お</sup>プトの王<sup>おう</sup>)

### 2. ネブカデネザル王<sup>おう</sup>が自<sup>お</sup>分の偶<sup>しん</sup>像<sup>ぶん</sup>を作<sup>つく</sup>って仕<sup>つか</sup>えるようにしました

- 1) これはサタン<sup>どれい</sup>の戦<sup>せん</sup>略<sup>りやく</sup>です
- 2) 偶<sup>ごう</sup>像<sup>ぞう</sup>に仕<sup>つか</sup>えることは、サタン<sup>どれい</sup>の奴<sup>ど</sup>隷<sup>れい</sup>になること<sup>こと</sup>です
- 3) いまもバビロン時<sup>じ</sup>代<sup>だい</sup>のように、全<sup>ぜん</sup>世<sup>せ</sup>界<sup>かい</sup>に偶<sup>ごう</sup>像<sup>ぞう</sup>神<sup>しん</sup>殿<sup>でん</sup>がいっ<sup>い</sup>ぱいありま<sup>あ</sup>ります

### 3. Remnant たちを<sup>と</sup>通<sup>とお</sup>して神<sup>かみさま</sup>様<sup>わたし</sup>が働<sup>はたら</sup>かれました (ダニ 3:8~24)

- 1) ダニエルの同<sup>どう</sup>僚<sup>りやう</sup>は、王<sup>おう</sup>命<sup>めい</sup>を拒<sup>きやう</sup>否<sup>ひ</sup>すること<sup>こと</sup>を超<sup>こ</sup>えて偶<sup>ごう</sup>像<sup>ぞう</sup>拒<sup>きやう</sup>否<sup>ひ</sup>しまし<sup>ま</sup>した
- 2) ダニエルの同<sup>どう</sup>僚<sup>りやう</sup>は、死<sup>し</sup>を覚<sup>かく</sup>悟<sup>ご</sup>しまし<sup>ま</sup>した
- 3) 神<sup>かみさま</sup>様<sup>わたし</sup>は、彼<sup>かれ</sup>ら<sup>かれら</sup>を火<sup>ひ</sup>の中<sup>なか</sup>でも守<sup>まも</sup>ってくださ<sup>さ</sup>る証<sup>しやう</sup>拠<sup>こ</sup>を見<sup>み</sup>せてくださ<sup>さ</sup>い



\* ネゴ: ユ-フ<sup>しんしゅつ</sup>ラテスまで進<sup>お</sup>出したエジ<sup>お</sup>プトの王<sup>おう</sup> (ネゴ王)

## 聖<sup>せい</sup>日<sup>じつ</sup>みこ<sup>み</sup>と<sup>と</sup>ばのタイ<sup>たい</sup>トル

### 聖<sup>せい</sup>日<sup>じつ</sup>聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>簡<sup>かん</sup>所

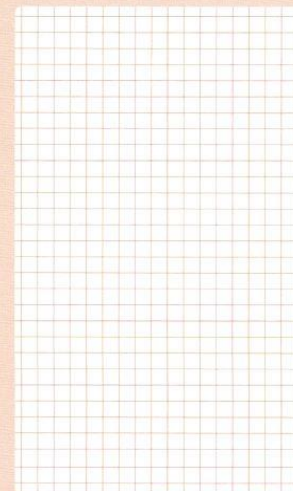


礼<sup>らい</sup>拜<sup>はい</sup>の準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>をして礼<sup>らい</sup>拜<sup>はい</sup>をささげ  
みこ<sup>み</sup>と<sup>と</sup>ばを私<sup>わたし</sup>の生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>に適<sup>てき</sup>用<sup>よう</sup>す  
こと<sup>こと</sup>まで、すべ<sup>す</sup>て<sup>て</sup>が礼<sup>らい</sup>拜<sup>はい</sup>で<sup>す</sup>

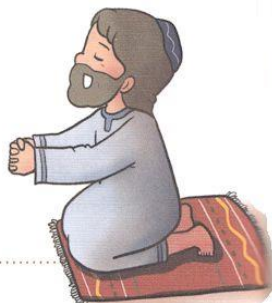
#### 礼<sup>らい</sup>拜<sup>はい</sup>の準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>のチエック

- 聖<sup>せい</sup>書<sup>しょ</sup>
- 献<sup>けん</sup>金<sup>きん</sup>
- 筆<sup>ひつ</sup>記<sup>き</sup>用<sup>よう</sup>具<sup>ぐ</sup>
- <子<sup>こ</sup>ども<sup>ども</sup>の祈<sup>いの</sup>り<sup>り</sup>の帳<sup>ちやう</sup>>
- 週<sup>しゅう</sup>報<sup>ほう</sup>を<sup>よ</sup>読<sup>よ</sup>む

#### 一<sup>いっ</sup>週<sup>しゅう</sup>間<sup>かん</sup>握<sup>にぎ</sup>る<sup>る</sup>みこ<sup>み</sup>と<sup>と</sup>ば



# ダニエルと三人の同僚の奥義



レムナントのみんな、こんにちは。わたしはダニエルです。  
10月は、私と私の同僚の奥義を分かち合しましょう。  
みんながあまり知らない私たちのことを知って、感じたことを  
聖書を見るときに思い出してくれたらうれしいです。

## 01 ダニエルが仕えていた王はどんな人でしたか

人々はダニエルが仕えた王について、ネブカデネザル、ベルシャツアル、ダリヨスだけだと思っ  
ていますが、実際には、もっと多くの王がいました。

### 1) ネブカデネザル (BC586-562年)

南のユダ王国を滅ぼして4,600人を捕虜とした王(エレ52:28-30)。その中にはダニエルもいま  
した。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを火の燃える炉に入れた王であり、彼の夢をダニエル  
が解釈しました(ダニ2章)。

### 2) エビル・メロダク (アメル・マルドゥク、BC562-560年)

バビロンの捕虜となっていたユダの王エホヤキンを牢獄から釈放した王です。(II列25:27-30)  
彼の在位はわずか2年で、ネルガル・サル・エツエルに武力で王位を奪われました。

### 3) ネルガル・サル・エツエル (BC560-556年)

ネブカデネザル王の嫡で、バビロンがエルサレムに攻め入って最後に街を包囲したとき、ゼデキヤ  
王の前に現れた高官です(エレ39:3、13)。彼は王になって4年目に死にました。  
その後、ネルガル・サル・エツエルの息子ラバシ・マルドゥクが王になりましたが、あまりに幼か  
ったので、国政が立ち行かず9か月で暗殺されました。

### 4) ナボドナース (BC556-539年)

暗殺されたラバシ・マルドゥクの次の王として即位しました。彼はシンという月の神をまつる  
狂信者でした。バビロンの最高位の男神マルドゥクの神殿を壊して、自分が仕えていたシンの  
神殿を多数建造しました。彼の治世からバビロンはだんだん弱くなっていき、最終的には、クロ  
スの治世にバビロンは滅びます。

### 5) ベルシャツアル

ナボドナースの息子です。学者は「ベルシャツアルは父とともに国を治めた」と推測しています。  
ダニエル5章で、彼はエルサレム神殿から奪ってきた金、銀の器でぶどう酒を飲んで、偶像を  
賛美して礼拝していました。そのとき指があらわれて、壁に文字を書いたので、ダニエルがその意  
味を解き明かしてあげました。その文字は「バビロンはもう終わった。メディアとベルシャとに与え  
られる」という意味でした。その日の夜ベルシャツアルは殺されました。

### 6) ダリヨス、クロス

聖書にはバビロンのベルシャツアルが殺された後に、メディア人ダリヨスが即位したと記されてい  
ますが、ダリヨス王は、当時62歳の高齢でした(ダニ5:31)。ダリヨスは、聖書にだけ出てくる  
名前なので、クロスと同一人物だと主張する学者もいます。結局のところ、正確なことはだれ  
にも分かっていません。ダリヨスはダニエルを総理としますが、ダニエルが獅子の穴に投げ込まれ  
た事件もまた、この時のことです。

## 02 もとの名前と、変わったあとの名前

ダニエルと三人の同僚は捕虜になって名前が変わりました。

### 1) ダニエル→ベルテシャツアル

- ・ダニエル:「神様はさばき主である」「神様は私のさばき主」という意味です
- ・ベルテシャツアル:ベルは偶像の名前で、「ベルの王子」「ベルが寵愛する者」という意味です

### 2) ハナヌヤ→シャデラク

- ・ハナヌヤ:「主なる神はあわれみ深い」「主なる神を寵愛する者」という意味です
- ・シャデラク:「太陽神から光を受けた」という意味です

### 3) ミシャエル→メシャク

- ・ミシャエル:「神様のような方が他にいるのか」という意味です
- ・メシャク:「月の女神のような方が他にいるのか」という意味です

### 4) アザルヤ→アベデ・ネゴ

- ・アザルヤ:「王は助けにくさる」という意味です
- ・アベデ・ネゴ:「火の神ネゴの真実なしもべ」という意味です



## 私たちに適用しよう!

1. 捕虜として連れて行かれた先の王が変わり続ける混乱状態の中で、ダニエルと三人の同僚は  
霊的サミットの奥義を味わいました。みんなは、いつ、どのように霊的サミットの奥義を味わって  
いるのかを書いてみよう(時間、方法)

2. サタンはダニエルと三人の同僚の名前を変えて、偶像文化の中にとらえました。  
サタンがみんなをだまそうとして作った悪い文化にはどんなものがあるのか、書いてみよう



